

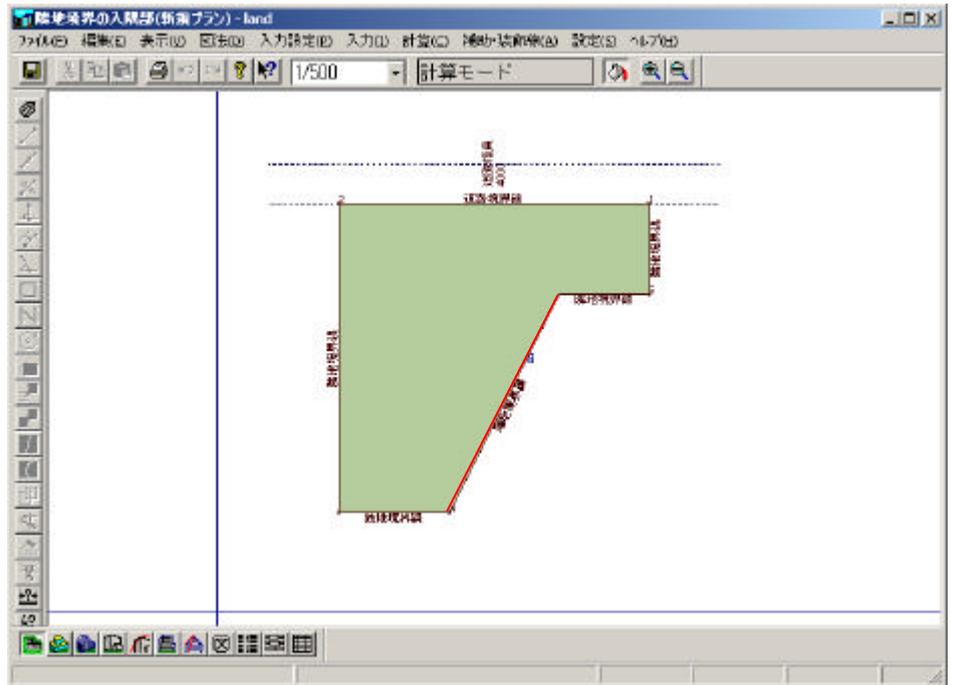
## 横浜市方式での天空率チェック方法

### 最低限高度地区における隣地高さ制限

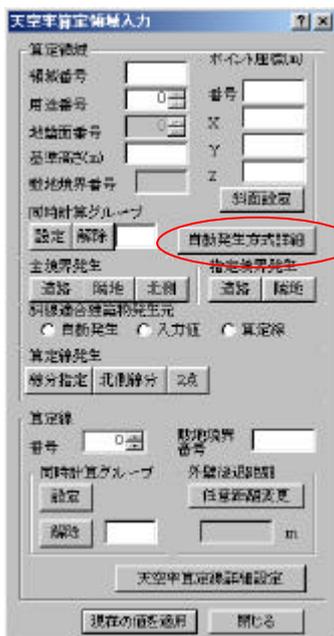
下図のような、隣地境界に入隅部のある敷地の場合、  
 TP - P L A N N E Rで必要な処理は、  
 天空率算定領域の入隅部の高さ計算（すり鉢）設定  
 天空率計算時の自動切断設定の解除  
 の2点です。

では、実際にどのように  
 入力・設定を行なうの  
 か、を説明します。

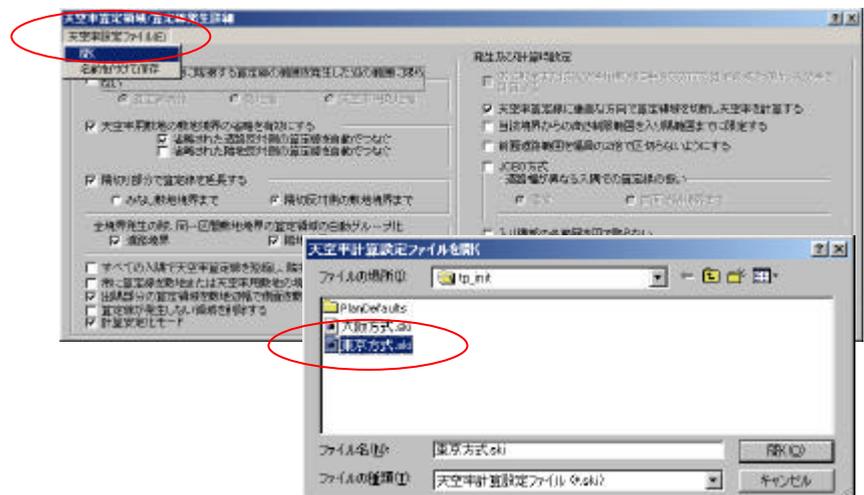
以下の処理は、すべて  
 TP - S K Yで行ないます。  
 あらかじめ、真北、敷地、  
 用途地域、建物などをT  
 P - L A N Dで入力して  
 TP - S K Yで読み込んで  
 お願いください。



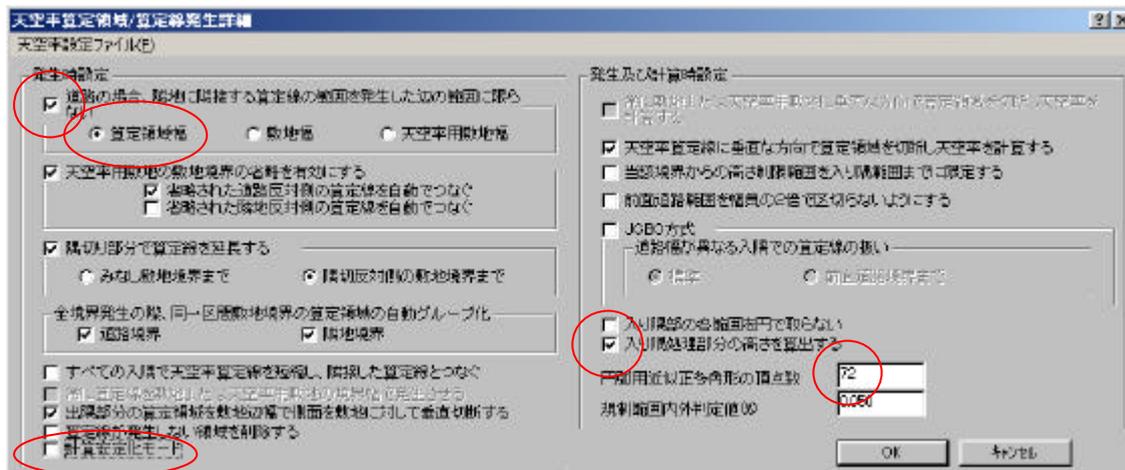
『天空率算定領域』の自  
 動発生方式を変更します。



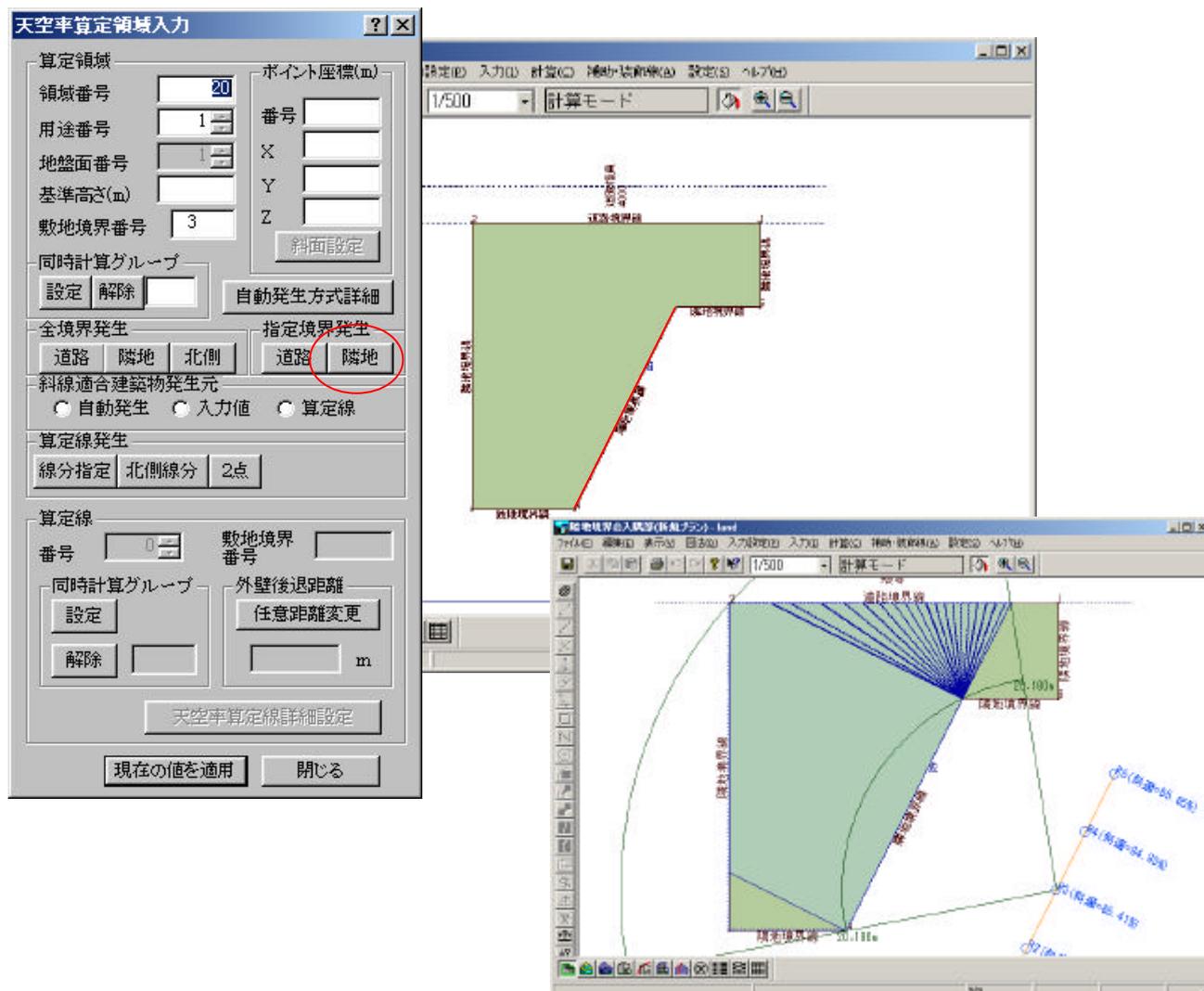
『天空率設定ファイル(F)』を指示し、  
 あらかじめ東京(都)方式を読み込んでおきます。



『天空率算定領域 / 算定線発生詳細』ダイアログを変更します。  
 発生に時間がかかるようであれば、ダイアログ左下『計算安定化モード』  
 のチェックを外してください。



入隅部隣地境界の天空率算定領域を発生させます。  
 発生に時間がかかるようであれば、 の『計算安定化モード』のチェックを  
 外してください。



『天空率』を計算させます。計算する際に『自動切断設定』算定線幅のチェックを外してください。結果は、以下のようになります。

